

実践『ペルソナ』通信 (No. 120)

「財布」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大生の「財布」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査結果から、実践女子大学生で財布を使用している人のほとんどが落ち着いた色味のを普段から使用しており、その中でもワンポイントのロゴやマーク、シンプルな柄が好まれている印象でした。サイズについては長財布よりも2つ折りや3つ折りといった小さいサイズの財布を使用している人が多く見られ、女子大生は荷物にならないコンパクトなサイズの財布を選ぶ傾向にあると言えます。また、財布の色味や柄と服装の親和性が高く、ブランド物の財布を使用している人が多いことから、財布をファッションの一部として取り入れ自己満足や周囲からの目線などを気にして財布を選ぶ一方で、サイズ感などの実用性も総合的に加味した上で使用する財布を選んでいることが分かりました。

調査結果のポイント

(1) 黒や茶色などの落ち着いた色の財布を使用している人の割合が高い

黒や茶色などといった落ち着いた色味の財布を使用している人が多く、どのような服装でも合わせやすい色味を選ぶ人が多いと考えられます。また、プレゼントとして財布を貰う人が多いということからも誰が持っても親和性の高い落ち着いた色味が選択されることが多いのではないかと考えられます。

(2) 小さめな財布を使用している人が多い

長財布を使用している人よりも小さめな財布を使用している人が多い傾向にありました。また、2つ折りや3つ折りなどは関係なく持ち運びやすく、コンパクトなサイズの財布を選ぶ人が多いことから学校や普段のどちらとも荷物にならない財布が好まれていると考えられます。

(3) ブランド物の財布を使用している人が多い

調査した方のうちの半数以上がブランド物の財布を使用していることから、女子大生はブランド物を好む傾向にあり、アルバイトによる金銭的な余裕、ブランド物を持つことによる自己満足や周囲からの目線などを気にするためブランド物を使用する人が多いのではないかと考えられます。

(4) シンプルな柄やデザインの財布を使用している人が多い

落ち着いた色味に加えてシンプルな柄やデザインの財布を使用している人が多く、女子大生はどのような服装でも合わせやすいブランドマークやその他ワンポイントやブランド特有の柄、無地の財布を好む傾向にあります。

(5) 財布の色味や柄と服装の親和性が高い

調査した方の使用している財布と服装の親和性の高さが写真から読み取ることができ、服装の系統や服の色や柄にあった財布を使用している人が多い傾向がみられました。このことから、普段着用する服の系統や色味に合わせて財布を選ぶ人が多いのではないかと考えられます。

調査概要

- ・調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- ・調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察・インターネット（LINE）による調査依頼
- ・調査期間：2024年7月～8月
- ・調査場所：実践女子大学・調査協力者の居住内スペース（部屋など）・その他

調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 青木奏・奥田花奈子・高橋実里・熊田彩

写真

【黒系・小さい財布】



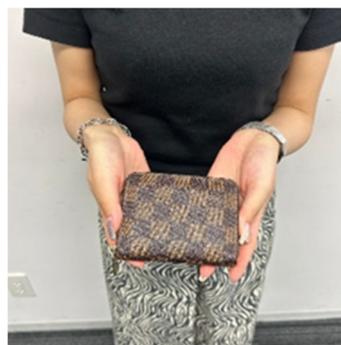
【黒系・長財布】



【茶系・長財布】



【茶系・小さい財布】



【ベージュ系・小さい財布のみ】



【ピンク系・小さい財布のみ】



【緑系・小さい財布のみ】



【黄色系】



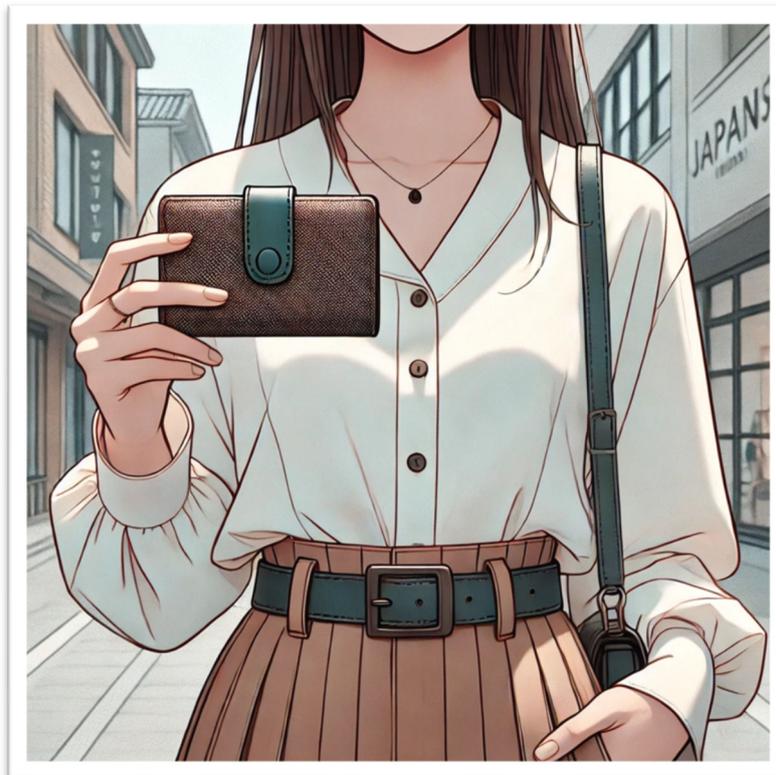
【その他】



調査後記

今回の調査を通じて、キャッシュレス化が進み、使用頻度に変化があったと答える人が6割を超えている中でも、ほとんどの人が財布を持ち運んでおり、依然として財布の需要が高い傾向がありました。使用している財布の色味として、A面の調査結果の通り、Be面の写真観察でも黒・茶色、ベージュといった落ち着いた色の好む人が多くみられました。財布の大きさについて見ると、長財布よりも持ち運びに便利なコンパクトなサイズ感を所持している人が多くみられました。財布のメーカーでは、何らかのブランド物である場合が多く、自身の満足感の高さ・他者の視線を気にするといった心理が影響していると推察されました。最後に財布の外見について派手な柄物や色味よりも落ち着いた色を選択し、私服の系統と合わせられるような財布を選んでいました。

下図は今回の5つのポイントを踏まえ、生成AI(ChatGPT 4o, 2024年11月16日(土)14:24)でペルソナのイメージ図です。



調査を行うにあたり、たくさんの方々にご協力いただいたおかげで様々な情報を得ることができ、さらなる分析に繋げることができました。改めまして調査にご協力下さった皆様、誠に有難うございました。